

株主・投資家との対話を通じた企業価値の向上

当社グループは、持続的な企業価値の向上に向け、株主・投資家との建設的な対話を重視しています。IR・SR活動を推進する専門部署を設置し、IR担当執行役員が活動全体を統括する体制のもと、社長をはじめとする経営陣や独立社外取締役と機関投資家の皆様との十分な対話機会を確保しています。加えて、個人株主の皆様に向けた情報発信や施設見学会などの交流の機会を設け、当社グループへの理解促進による関係性の強化と長期的な株式保有を図っています。対話を通じて寄せられた意見や要望は適宜取締役会に報告し、事業・財務戦略のブラッシュアップなどの具体的なアクションにつなげています。

市場からの「声」と、企業価値向上に向けた経営のアクション

2026年3月期の対話では、主に「業績回復に向けた実行力」や「中長期的な成長に向けた事業ポートフォリオの最適化」について強い関心が寄せられました。これらの声を受け、社内の各会議体における議論を通じて、以下のとおり具体的なアクションへと結びつけています。

「次なる成長ステージ」を牽引する経営体制

市場からの主な声 不確実性の高まる事業環境において、ヤマトグループの変革を一段と加速させ、新たな成長軌道を描くための強力なリーダーシップと経営体制を期待する。

当社の対応 指名報酬委員会における客観的な審議を経て、これまでの改革で築いた経営基盤を引き継ぎつつ、既存の枠にとらわれない多様な知見に基づき、機動的な決断を下せる経営体制へ移行しました。新体制のもと、ガバナンス機能のさらなる高度化と迅速な戦略実行を通じて、持続的な成長を実現していきます。

▶ P.44 指名報酬委員長メッセージ

事業ポートフォリオの変革と資本効率の向上

市場からの主な声 成長性と収益性の両面から各事業の立ち位置を客観的に評価し、リソース配分の最適化やバランスシート・マネジメントについて、より踏み込んだ議論と実行を求める。

当社の対応 持続的な収益性の向上を目指す「ROIC(投下資本利益率)経営の推進」を軸に据え、各事業へのリソース配分の最適化を進めています。あわせて、バランスシート・マネジメントの強化に向けた厳格な投資規律として、「事業別ハードルレート」および「アセット・ガバナンス方針」を導入。政策保有株式の売却加速や不動産の流動化など、資本効率を最大化するための果敢な意思決定を迅速に実行していきます。

▶ P.6 CFOメッセージ

サステナビリティ戦略と企業価値の連動

市場からの主な声 ESGや環境対応への取組みが、コストにとどまらず、どのように中長期的な企業価値(財務インパクト)に結びつくのか、説得力のある道筋を示してほしい。

当社の対応 サステナビリティに関する説明会等を通じて、非財務情報と財務戦略を統合した開示の高度化を進めています。EV導入やエネルギーマネジメントによるコスト抑制や新たな収益源の創出、組織と人の変革による人的生産性やエンゲージメントの向上など、非財務の取組みを経済価値へと変換する構造を定量的・定性的に説明し、中長期的な企業価値向上へのつながりを実証しています。

▶ P.27 新規領域 ▶ P.29 人事戦略 ▶ P.36 環境戦略

■ エンゲージメント活動の実績 (2026年3月期)

対象	活動内容	当社スピーカー	実施回数
機関投資家	決算説明会	社長および各担当執行役員	4回
	スモールミーティング	社長および各担当執行役員	2回
		社外取締役	1回
	「サステナビリティ(環境・社会)」に関する説明会	各担当執行役員	1回
	海外投資家訪問(欧州・米州・アジア)	社長	4回
個人投資家	個別対話(1on1)	社長、IR担当執行役員およびIR担当者	303回
	施設見学会 (統合型ビジネスソリューション拠点)	IR担当者	6回
	対話会	地域担当執行役員およびIR担当執行役員	2回

※株主・投資家のご要望および面談目的などを踏まえて対応しています。